

WNU SI 2007フェローの声

番号	質問(↓)\日本人通算番号(→)	4	5
1	参加年次	2007年	2007年
2	6週間という期間をどう思いますか。	間延び感を感じたため4週間くらいでもいい。経済的負担も減り、参加者を増やす効果。	少々中弛みの感。ただ、サイト見学やForum準備などのイベントで予想より短く感じた。業務上6週間の不在は影響大きい。
3	研修での講義内容がその後の業務に役立ったという感じはありますか。	実業務に未だ就いていないため、回答不可。研究との直接的関係は無い。	翌年に輸送部署に異動したが、世界情勢、日本の原子力政策、会社方針を俯瞰して自らの責務を定義する上で有益な知識となった。
4	ワーキンググループ活動の方式(進め方など)、内容でその後の業務に役立ったという感じはありますか。あるとすれば、例えばどんな？	多国籍な場では順番を待たずに主張することが肝要なこと、自分には当然のことが相手には全く違いえるということを学んだことは今後のキャリアに非常に有益。	特に新たな収穫はなかった。
5	Forum Issueの検討プロセス(やり方、時間、他)は満足でしたか。	一定の時間で多国籍仲間の多様な意見をまとめ結論を出す流れを経験するには最高。その難しさを痛感しただけでも収穫だった。メンバーが口を出さないことは、堅持すべき。	ForumのWGを早々に立ち上げた方が、チームビルディングや情報収集・分析の時間をとれるので有益。
6	講義後のPlenaryはやり方、時間で改善したい点はありましたか。	午後のグループ討議の時間のことなら。5と同様、一定時間内に何らかの結論を出す過程が重要である。	最初は手探り状態なので、グループ間でベスト・プラクティスの共有を図ることが望ましい。
7	研修参加前の期待に反した点はあるものがありましたか。	事前の期待はなかった。研修で想像以上の経験(コミュニケーション・友人作り・多国籍環境での心の準備など)。原子力産業の魅力を認識。	各参加者の目に映る各国の原子力政策や世論の動向等、情報交換の場をゆっくり持てなかったのが残念。
8	研修全体が、WNUの目指す「指導者育成」になっていると思う点は？	1. フェロー間ネットワーク構築の場で効果。 2. 限られた時間で多国籍チームの意見をまとめて、なんらかの成果を出す訓練。	グループ運営を参加者の主体性に極力委ねている点。
9	同上、なっていない点は？	テクニカルツアー。セキュリティ上、施設を見学できない事例が多かった。	フィードバックのない育成プログラムとなっているのでは。
10	研修内容で、あれがあれば良い、と思う点はありましたか。	当時は内容に満足していました。実務経験を積み、こんなことが必要かもと思いつくかもしれません。	・Newcomerプロジェクト担当者によるプレゼン(現状、展望、課題、要望)。 ・各国の原子力政策の現状、展望、課題に係る分析、ベスト・プラクティスの紹介。
11	研修全体で、あれはあまり意味がないというものはありましたか。	強いて挙げれば、テクニカルツアー。	・特になし
12	周囲の同僚に参加を勧めたいと思いますか。	実務をある程度経験したメーカー、電力の若手、行政・規制当局職員に参加を勧めたい。	電力会社の優秀な若手、社内で英語が堪能な元気な若手に参加を勧めている。

WNU SI 2007フェローの声

番号	質問(↓)\日本人通算番号(→)	4	5
1	参加年次	2007年	2007年
13	私自身は「研修で大きな益を得るには、原子力の知識、英語力、指導性のうち二つは欲しい、一つでは苦しい」と考えます。この考え方にご意見ありますか(賛成、反対、別意見、何れも歓迎)。	英語力とある程度の原子力の知識は必須。米国研究留学よりもはるかに語学的にタフでした。指導性については、多国籍な場での指導性に長けているフェローはSIには少ないはずなので、その違いをSIを通して認識することが重要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・参加目的・期待する成果を明確に持つこと(動機付け)が最も重要で、何が「益」かはそれ次第。 ・英語力に加え、物怖じしない性格と遊び心。 ・原子力の基礎知識は必要。 ・貢献志向が高いことも重要因子。
14	研修終了後、他のフェローとの往来、連絡の実績はどのくらいありますか。	年平均2、3回個人的な連絡をとる程度。付き合いは個人的で、現状では仕事に一切関係していません。将来は連絡をとってみたい。	・半年間ほど海外のフェロー数人と連絡をとっていたが、定期的な継続はできず。日本の参加者も含めて、時折連絡をとっている状態。
15	同上、最近1年ではどうですか。	メキシコの新型インフル騒ぎの際、安否を問合せ。翌年のANSで偶然の再会。	上に同じ
16	その他、研修で感じた点があれば何でもお書きください。	研修当時は毎日が語学的に非常にタフでしたが、今振り返ると、やはりあれほど多国籍な業界人に一度に会って直接話せる機会は滅多にないと思うので、個人的には原子力業界でしばらく実務経験を積んだ後、もう一度フェローとして参加したい気持ち。	<ul style="list-style-type: none"> ・WNU-SIの概要(シラバス)、研修の目的や雰囲気事前に把握したかった。 ・膨大な情報量、不慣れな英語での講義に苦しみ、関心ある分野でも難渋した。 ・ソーシャル活動がストレス解消や交流にとても有益。その環境が事前にわかれば、精神的な不安を緩和できる。食事を含めて、研修以外での開催国参加者の貢献は非常に重要。 ・もう一度機会があれば、是非参加したい。